

牧之原市多目的体育館整備基本計画（概要版）

1 計画趣旨

現在、市内に設置されている体育館は大小合わせて社会体育施設5ヶ所、学校体育施設12ヶ所を有しており、生涯スポーツ、競技スポーツの拠点として親しまれています。

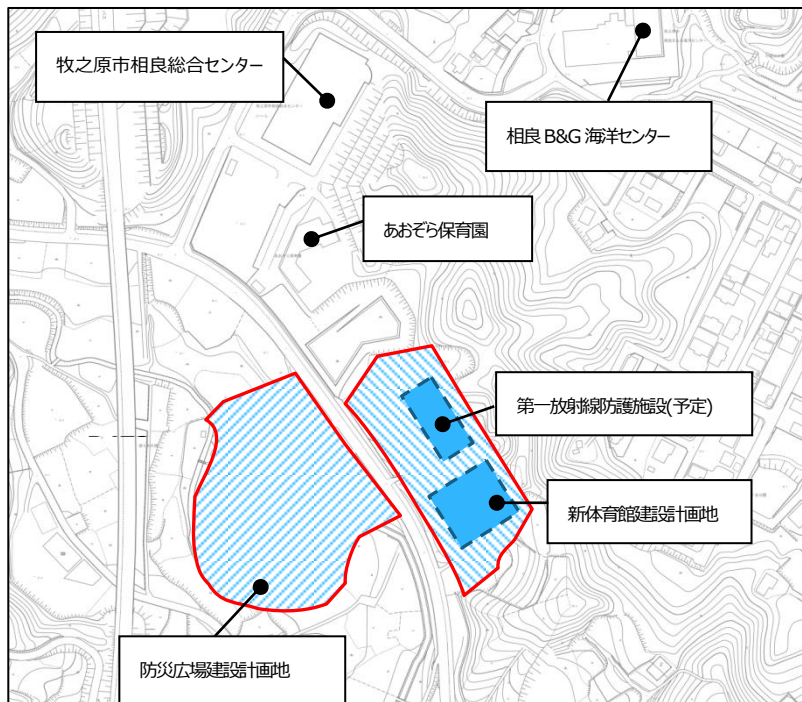
しかし、その多くは建設から30年以上が経過しており、施設の老朽化が進行し、施設利用者のニーズに対応可能な施設とは言い難い状況にあります。

また、昨今の大規模災害発生時に市民を守るための防災拠点機能を果たす施設が求められています。本市では隣接市に原子力発電所を有しており、原子力災害についても特に考えていく必要があります。市は相良地区において災害対応能力を向上させるための整備を行うことを公表しました。

これらを合わせ、本市スポーツ推進計画に掲げる「スポーツで健康なまちづくり」の理念に基づき、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」を実現し、のみならず市民の交流の拠点として、災害時には市の防災拠点としての機能を発揮する施設の整備に取り組みます。

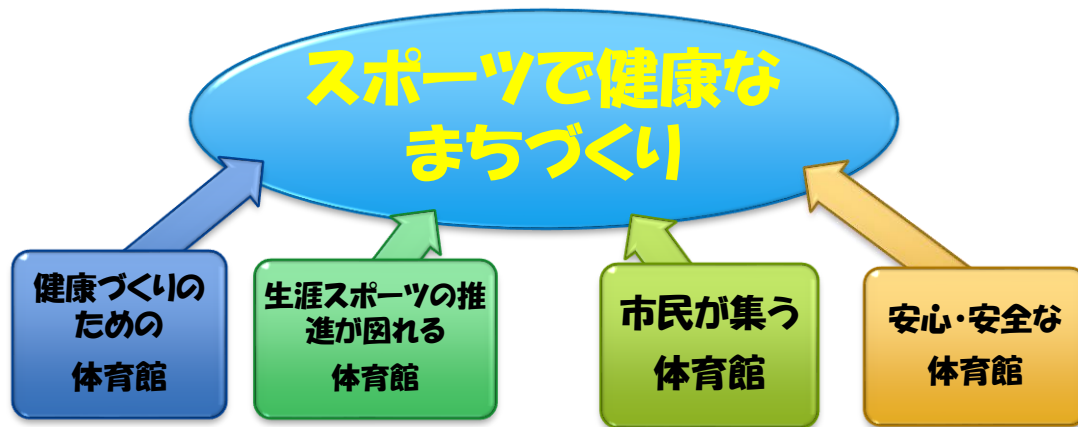
2 建設予定地

建設予定地周辺は「相良総合センターい〜ら」、「相良 B&G 海洋センター」、「あおぞら保育園」等があり、『教育』『文化』『スポーツ』の拠点が集積しているエリアとなっています。また東名牧之原ICより車で20分、富士山静岡空港から車で30分での往来が可能で、市内外からのアクセスにも恵まれているエリアです。



施設位置	牧之原市須々木地内
敷地面積	約 1.2ha (平地部分のみ)
用途地域	都市計画区域内 用途地域 無指定
防火地域	無指定
建ぺい率	60%
容積率	200%

3 基本コンセプト



○基本コンセプト

市民が生活の中で、本施設を利用することにより、スポーツを『する』、『みる』、『ささえる』ことができ、自身の心と体の健康増進の機会を提供する施設を整備します。

(1)健康づくりのための体育館

様々な世代の多様なニーズに対応し、それぞれのライフステージに合わせて、スポーツに親しみ、楽しむことができる施設とします。また、スポーツや健康への関心を高めるイベントや、講習会の開催等『みる』『ささえる』機会を創出する施設とします。

スポーツや健康への関心を高めるイベントなどや、講習会の開催等スポーツをするだけでなくスポーツに関する学習空間など、「みるスポーツ」や「ささえるスポーツ」の機会を創出する施設を整備します。

(2)生涯スポーツの推進が図れる体育館

生涯スポーツの拠点として、スポーツに親しみ、スポーツの楽しさを学ぶとともにスポーツを通じて健康で心豊かな生きがいが育まれる施設を整備します。

全ての人に使いやすいユニバーサルデザインを実現し、競技スポーツだけでなく、子どもから大人まで家族で訪れスポーツに触れることができる施設とします。また、世代を超えた交流ができる施設にするとともに、スポーツや健康づくりに参加したくなる情報の提供や環境を整えた施設とします。

世代を超えた交流ができる施設とするとともに、スポーツや健康づくりに参加したくなる情報の提供や環境を整えた施設を整備します。

(3)市民が集う体育館

スポーツの関係者のみならず、多くの市民が利用できる体育館として、健康づくりはもちろん、憩い安らぎの場として、子どもから高齢者まで多くの市民が集い親しまれる施設とします。

(4)安心・安全な体育館

災害時においても施設機能を堅持し、利用者はもとより市民の皆様の安全を確保するため、必要な防災拠点機能を併せ持つ施設とします。

4 想定施設概要

(基本的機能)

- 施設全体を通して、導入する機能、設備についてはランニングコスト、ライフサイクルコストの低減に配慮し、維持管理運営のしやすい衛生的な施設であることを目指します。
- 利用しやすくなるために様々な利用者の目線に立った配慮があることとします。
- 施設利用時にスポーツをする人以外の人も気軽に訪れることができ、休憩や簡単な飲食ができるような憩いの場を検討します。
- 周辺施設がそれぞれ活性化し、相乗効果を生み出せるような一体的な利活用を検討し、本施設において必要な諸室・機能の精査や多くの方が多目的に利用することを想定した規模や工夫を検討します。

(健康づくり・生涯スポーツの機能)

主な機能、名称	想定規模概要	概要
メインフロア	バスケットボール2面分、バレーボール2面分、バドミントン、インディアカ10面分相当	・多種目競技による使用、多目的な利用ができる空間を設けると共に、激しい運動による衝撃に耐え、安全性も確保できる部材の選択など最新の知見を基に慎重に検討します。
トレーニングルーム	体力向上、健康増進施設	・利用者の健康、体力の保持増進を目的とし、各種トレーニングマシンによる運動や一部にストレッチ運動が可能なスペースを設ける検討をします。

(市民が集う機能)

多目的ルーム	多目的な教室利用ができる施設	・スポーツ指導者などの多人数による研修会や講習会など様々な用途に利用することができる施設とします。 ・競技応援席、イベント等を実施する際の観覧席として利用する他、競技の待機場所や災害時にも有効的に活用できる観覧席の設置を検討します。
キッズルーム (スペース)	子育て世代に対応できる施設	・利用方法など明確な目的を持って設置するとともに、衛生面や安全性、プライバシーの保護や維持管理面など様々な観点から検討を行い、必要な規模を適切な場所に決定します。

(災害時の安心・安全等の機能)

空調設備、非常用電源設備等	避難時やスポーツ時、暑さ対策として整備する	・諸室において様々な利用形態、利用時間帯に対応した設備を整備し、災害時には施設の単独稼働を補完する災害拠点機能を十分発揮できる設備を整備します。
備蓄・資材庫 等	資機材の保管のため整備する	・災害時に必要な備品、資機材を一時保管、備蓄できるスペースを確保します。

(想定建築面積 3,000㎡)

5 想定事業費

想定事業費は25億円以下（設計・施工・工事監理費）と想定しています。

6 整備手法

いつ起こるかわからない災害に備え、早期に整備を進めるとともに、民間のノウハウを最大限に活用し、低廉で高品質の施設を整備するため、「設計・施工一括発注方式」（DB方式）を採用します。

7 維持管理運営方針

本施設は可能な限り省エネルギー化を図り、施設のランニングコストの低減及び、負担の少ない持続可能な施設を目指します。また適切な点検・保守に努め、計画保全を行うことで安定した管理計画により施設の長寿命化を推進します。

施設運営に関しては市民の『する』『みる』『ささえる』施設を目指し、多様なニーズに対応した機会の提供を推進します。

施設の維持管理運営に関しては「指定管理者方式」を前提とし、民間が持つ専門性を最大限に活用し、良質な公共サービスの提供を目指します。

8 想定事業スケジュール

設計・建設期間	令和3年度～令和5年度（予定）
供用開始	令和5年度中（予定）

牧之原市教育文化部スポーツ推進課

（令和3年4月作成）